

さまざまな分野で頑張る若手職員の声を集めました。
子どもからお年寄りまで安心して暮らせる舞鶴を一緒につくりませんか？

長期的な視点で子ども達を支えたい

放課後児童クラブなどの整備や、運営主体との調整の事務を担当しています。学生時代は教員を目指していましたが、より広域的かつ長期的な視点で子どもたちを支えたいと考え、市職員になりました。

日々の業務では難しいこともありますが、「ありがとう」という言葉をいただくと、心が救われ、また頑張ろうと思えます。

職員それぞれが使命を持って仕事に励んでいます。地域を考え、市を考え、未来を考え、ともに頑張りましょう。



子ども支援課
本村 賢吾 (24)



地域の課題を見出し、解決できる保健師に

成人の「がん検診」、「パパママ教室」などの仕事をしています。自分自身の出産・子育ての経験がない中で、市民の皆さんに納得していただけるよう、誠実に対応することを心掛けています。

自分で考えて事業を展開していくことは楽しく、成果を得るとやりがいを感じ、また、認められたいという思いにもなります。

地域に飛び込み、市民の方と話す中で、それぞれの課題を見出し、解決していける保健師を目指し、ともに頑張りましょう。



健康づくり課
岸田 由紀子 (30)



派遣先で学んだことを持ち帰りたい

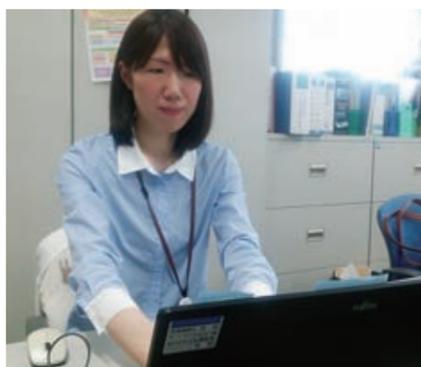
京都府後期高齢者医療広域連合（京都市）に派遣され、後期高齢者医療保険の資格認定などを担当しています。京都府の全市町村に関わる仕事で、やりがいとともに、責任を感じながら仕事をしています。

市役所で、このように市外で働く機会があるとは思いませんでした。他の市町村から派遣されている人たちから、まちづくりの姿勢をお聞きするなど、日々さまざまな刺激を受けています。

皆さんと一緒に働ける日を楽しみにしています。



京都府後期高齢者医療広域連合派遣
郷田 恵理子 (29)



限られた予算の中で最大限の効果を

市有建築物の電気・機械に係る工事の調査、設計および施工に関することを担当しています。工事完了後に、これでよかったと思える仕事ができるよう、日々勉強に励んでいます。

この仕事は結果が目に見えるので、非常にやりがいを感じています。限られた予算で最大限の効果を発揮させることが、今の目標です。

幅広い分野の仕事に携わることができると、自らのスキルアップにつながります。一緒に頑張りましょう。



住宅・営繕課
羽賀 博昭 (33)



—平成30年4月採用— 市職員募集

市役所の役割は、市民の皆さん一人ひとりに「住んでよかった」、「これからも住み続けたい」と感じていただけるよう、生活や仕事などに関わるさまざまな分野で、条件や環境を整えることです。

市役所で働く職員の仕事の原点は、「市民の皆さんの役に立ちたい」、「もっと元気なまちにしたい」という思いであり、この思いこそが、市民の皆さんと市役所をつなぐ「絆」であると考えています。

地域で今、何が起きているのか、市民の皆さんは、何を望んでおられるのかを常に考え把握し、地域の抱えるさまざまな課題の解決に向けて市民の皆さんとともに知恵を絞り、汗をかくことができる人材を求めています（詳細は16頁）。

《人事課》

市役所が目指す「組織像」

市民に信頼され、
市民の役に立つ市役所

市職員が目指す「職員像」

- ◆市民の中に入って、地域の課題を見つけ、市民とともに考え、解決に向け積極的に行動する職員
- ◆職員一人ひとりが、専門性や得意分野を持ち、自らの特性も最大限に発揮し、市民の信頼に応える職員
- ◆社会情勢の変化に即応した改革意識を持ち、仕事への情熱と柔軟な思考のもと、市役所と仕事を変革できる職員